

# 事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード	05-04-01		戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	ゆいの森あらかわ事務管理費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	担当者名	榊	課長名	内線	菊池 3750
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-02-01	事務管理費						
事務事業の種類	新規事業（29年度 28年度）		建設事業		それ以外の継続事業			
開始年度	昭和	平成	28年度	根拠	荒川区立ゆいの森あらかわ条例			
終期設定	有	無	年度	法令等				
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画		
行政評価事業体系	分野	文化創造都市						
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり					
目的	ゆいの森あらかわの適切な維持管理により施設の長寿命化を図るとともに、魅力的かつ安心・安全なサービスの充実を図る。							
対象者等	ゆいの森あらかわ利用者							
内容	【開設】平成29年3月26日 【所在地】荒川区荒川2-50-1 【土地面積】4,111㎡ 【床面積】10,944㎡ 【構造】鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 【開館時間】午前9時30分～午後8時30分 【主な事業】中央図書館、吉村昭記念文学館、子どもひろば等							
経過	平成21年10月 複合用地取得（経理課において取得） 11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置 平成23年 7月 （仮称）あらかわ二丁目複合施設基本計画策定 平成24年 3月 荒川地区都市再生整備計画策定 10月 （仮称）荒川二丁目複合施設基本設計及び展示基本設計完了 平成26年 3月 （仮称）荒川二丁目複合施設実施設計完了 10月 複合施設の建設工事着工 平成27年 2月 愛称名を「ゆいの森あらかわ」に決定、プロポーザルによりカフェ運営事業者決定 平成28年 1月 ロゴマークの決定 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定 平成29年 1月 竣工 3月26日 開館							
必要性	ゆいの森あらかわの運営により、荒川地区はもとより、区内全体の知とコミュニティの醸成を図るため、世代や地域、目的が違う人々が集い、交流と経験の共有を通して、知の集積や発信、新たな知的文化活動の誘発や企画が生まれる施設の必要性は高い。							
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 清掃・警備業務を委託							

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額								198,882
決算額（29年度は見込み）								198,882
実績の推移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	修繕件数	0	0	0	0	0	0	1

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
						報償費	アドバイザー謝礼	624
						旅費	近接地外旅費等	435
						需用費	光熱水費、消耗品費、印刷製本費等	45,833
						役務費	電話料、人材派遣経費等	46,420
						委託料	施設管理に係る業務委託等	104,582
						使用料及び賃借料	トイレ衛生装置賃借料等	888
						備品購入費	備品購入費	100

	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	27年度	28年度	差額		27年度	28年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費		0	行政収入	地方税		0
	物件費		0		国庫支出金		0
	維持補修費		0		都支出金		0
	扶助費		0		分担金及び負担金		0
	補助費等		0		使用料及び手数料		0
	減価償却費		0		その他		0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		0
	賞与・退職給与引当金繰入額		0		行政収支差額(a)-(b)=(c)		0
	その他行政費用		0		金融収支差額(d)		0
	行政費用合計(b)		0		通常収支差額(c)+(d)=(e)		0
特別費用(g)		0	特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	当期収支差額(e)+(h)		0		
備考							

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	入館者数			1,212,764	1,600,000	1,800,000	ゆいの森あらかわ及び各図書館の入館者数の総計
	区民一人当たりの図書館運営経費(円)(H29.4.1現在)				1,270	1,000	(ゆいの森事務管理費+地域図書館管理費の当初予算)÷住基人口

問題点・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が安心・安全な施設の運営を行う。</li> <li>・快適な環境づくりを図るとともに、光熱水費の節約や設備の適正な維持管理に努める。</li> <li>・来館者がわかりやすく、利用しやすい状況を分析し、改善点を検討する。</li> </ul>
他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区) 図書館、文学館、子どものための施設が融合した、これまでにない新しいコンセプトの施設である。

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
			利用者が安心・安全で、より快適な施設運営を検討し、実施する。
			来館者がわかりやすいサインを検討し、設置する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
推進	推進	施設全体のPRを行い、国内外の来館者が利用しやすい環境を整備する。

議(要)質(問)状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度 6月会議 区のシンボリック施設としての全庁を挙げた事業展開について</li> <li>・平成28年度 6月会議 成果と今後の方向性について</li> <li>・平成28年度 決特 ゆいの森あらかわの周知について</li> <li>・平成28年度 決特 サイン、デコレーション等について</li> </ul>
-----------	--

# 事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード	05-04-02		戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	ゆいの森あらかわ事業運営費			部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	菊池	
		担当者名	榊		内線	2256		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-03-01	ゆいの森あらかわ事業運営費						
事務事業の種類	新規事業（29年度 28年度）			建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	28年度	根拠	荒川区立ゆいの森あらかわ条例			
終期設定	有	無	年度	法令等				
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	文化創造都市						
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり					
目的	生涯学習や地域コミュニティの拠点となるよう、「ゆいの森あらかわ」の3つの機能が有機的に融合した事業のほか、関連する機関と連携した事業及びボランティア活動の支援を展開する。							
対象者等	区民及び施設利用者							
内容	<p>【施設機能等連携イベント】 図書館、文学館、子ども施設の各機能が連携した講演会やイベント等を開催。</p> <p>【地域活動支援】 地域コミュニティの拠点となるよう、地域の方がボランティア等で施設運営に参加できるよう、いきいきボランティアポイント制度などを取り入れながら、活動内容を広げていく。</p> <p>【他機関協働事業】 他部署や他機関と連携し、区民の方が施設に足を運びきっかけとなる幅広い事業展開を行う。</p>							
経過	<p>平成21年11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置</p> <p>平成23年 7月（仮称）荒川二丁目複合施設基本計画策定</p> <p>平成24年 3月 荒川地区都市再生整備計画策定</p> <p>平成28年 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定 12月理科読ボランティア開始</p> <p>平成29年 3月26日 開館 4月いきいきボランティアポイント制度登録</p>							
必要性	地域活動への参加や多様な体験や学習のきっかけとして事業を展開する必要がある。							
実施方法	( 1直営 ) ( 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 )							

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額								10,036
決算額（29年度は見込み）								10,036
実績の推移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	イベント数（回）						2	20
	ボランティア活動者数（延べ人数）						20	100

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
						報償費	イベント講師謝礼	1,273
						需用費	食糧費、消耗品費	545
						役務費	通信運搬費、人材派遣経費	4,654
						委託料	グッズ、企画展展示制作	3,564

	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	27年度	28年度	差額		27年度	28年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費		0	行政収入	地方税		0
	物件費		0		国庫支出金		0
	維持補修費		0		都支出金		0
	扶助費		0		分担金及び負担金		0
	補助費等		0		使用料及び手数料		0
	減価償却費		0		その他		0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		0
	賞与・退職給与引当金繰入額		0		行政収支差額(a)-(b)=(c)		0
	その他行政費用		0		金融収支差額(d)		0
	行政費用合計(b)		0		通常収支差額(c)+(d)=(e)		0
特別費用(g)		0	特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	当期収支差額(e)+(h)		0		
備考							

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	事業開催数(回)				12	15	ゆいの森で実施した事業数
	ボランティア活動者数				100	100	

問題点・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な事業展開を行い、魅力ある施設運営を行う必要がある。</li> <li>いきいきボランティアポイント制度の利用者が参加しやすい枠組みを検討する必要がある。</li> </ul>
他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策		
平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
		他部署と連携し、多くの区民が参加できる様々な分野のイベントを実施することで、魅力ある施設運営につなげる。
主に施設で活動いただけるボランティアの育成に取り組む。	理科読ボランティアを募集、育成し、次年度の活動につなげた。	いきいきボランティアポイント制度も活用しながら、幅広くボランティアを募集し、活動しやすい環境を提供する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	地域コミュニティ及び文化推進の新たな拠点として、運営を軌道に乗せる必要がある。

議(要質問)況	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度 2月会議 ボランティアについて</li> <li>平成28年度 2月会議 オープニングイベント等について</li> <li>平成28年度 9月会議 ボランティアの活用について</li> </ul>
---------	--



	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	27年度	28年度	差額		27年度	28年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費		0	行政収入	地方税		0
	物件費		0		国庫支出金		0
	維持補修費		0		都支出金		0
	扶助費		0		分担金及び負担金		0
	補助費等		0		使用料及び手数料		0
	減価償却費		0		その他		0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		0
	賞与・退職給与引当金繰入額		0		行政収支差額(a)-(b)=(c)		0
	その他行政費用		0		金融収支差額(d)		0
	行政費用合計(b)		0		通常収支差額(c)+(d)=(e)		0
特別費用(g)		0	特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	当期収支差額(e)+(h)		0		
備考							

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	遊びラウンジ利用者数(子どものみ)				36,015	40,000	一日平均105名×343日
	体験キット貸出件数				6,860	8,575	一日平均20件×343日
	ワークショップ等参加者数				1500	2000	ワークショップ、校外学習等の参加者数

問題点・課題	開館直後であることから、施設のワークショップ等のイベントや一時預り等の事業の周知が十分ではないことから、周知に努める必要がある。 おもちゃや体験キットの充実に取り組み、魅力ある子どもひろばを運営していく必要がある。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区) 遊びラウンジは、国の事業である「地域子育て支援拠点事業」に基づき実施している。

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
	・	一時預り事業者を決定し、運営方法について協議・決定し、運営を開始する。	安全に一時預りを実施しながら、区内への周知に努める。
		おもちゃや体験キットの購入等を実施。	今後必要なおもちゃ・体験キットを検討し、充実を図る。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	星空学習については、つくば市のプラネタリウム見学から変更となる。これらを含めて新たな事業体系を構築する必要があるため。

議(要旨)問(状)	
-----------	--

# 事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード	05-04-04	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	中央図書館運営費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	担当者名	木次	課長名	菊池
						内線	2256
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-04-01	中央図書館運営費					
事務事業の種類	新規事業（29年度 28年度）		建設事業	それ以外の継続事業			
開始年度	昭和	平成	29年度	根拠	図書館法、荒川区立ゆいの森あらかわ条例、		
終期設定	有	無	年度	法令等	荒川区立図書館条例、荒川区立図書館館則		
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進				
目的	図書資料や図書館オンラインシステムを充実させ、関係機関と協力して読書活動に親しむ多様な事業展開を行うことによって、子どもたちの読書環境の向上や区民の読書活動を推進し、利用者全体の課題解決や生涯学習を支援する。						
対象者等	図書館利用者、その他図書館等関係機関						
内容	<p>多様化するニーズに応え、課題解決を支援できるよう、より専門的な資料から一般的な資料まで購入し誰でも利用しやすい環境を整え提供する。 30万冊規模の開架の書架等を活用し、特集コーナー等の設置やイベントとの関連資料を提供すること で、図書資料を積極的に活用する。 大規模な蔵書を効率的かつ効果的に管理し、良質なサービスを提供する。 絵本館、現代俳句センターなど、特徴となる資料の収集・提供を行う。特に、俳句資料については、現代俳句協会との協定に基づき、事業を進める。</p> <p>【蔵書規模】 開架30万冊、閉架30万冊 【資料】 書籍 AV 雑誌タイトル 新聞紙</p>						
経過	<p>昭和37年 3月 荒川図書館開設 平成5年 図書館オンラインシステムの稼働、集中発注受入方式を導入 平成13年 7月 インターネットによる資料の検索・予約サービス開始、図書館ホームページ開設 平成14年 2月 携帯での検索・予約サービス、インターネットによる貸出・予約照会サービス開始 平成16年 4月 パスワード・メールアドレス登録、予約確保連絡メール自動送信、メール督促開始 平成18年 4月 「これからの図書館調査懇談会報告書」「荒川区子ども読書活動推進計画」策定 平成19年 3月 図書資料収集基準として、荒川区立図書館資料収集要綱を制定 平成20年 7月 第1回柳田邦男絵本大賞を創設、「特色ある図書館づくり」を目指し、分担収集開始 平成21年 3月 全館で無線LAN規制ソフト導入 平成28年 4月 「荒川区子ども読書活動推進計画（第三次）」策定 平成29年 2月 中央図書館開館に伴い新システムへ変更 3月 中央図書館開館</p>						
必要性	多様化するニーズと課題に対応し、区民の読書活動及び生涯学習等、生涯に渡り学ぶことによって、自ら課題を解決することができる環境づくりに必要な事業である。						
実施方法	( 2一部委託 ) ( 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ) 図書館オンラインシステム機器保守委託、図書装備委託など						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額								125,315
決算額（29年度は見込み）								125,315
実績の推移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	入館者数（人）						15,991	600,000
	個人総貸出点数（点）						15,115	696,000
	特集コーナー設置数（回）						7	50
	おはなし会開催回数（回）						0	50

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
						賃金	臨時職員賃金	4,886
						報償費	各種講座講師謝礼	1,966
						需用費	図書資料購入費等	48,666
						役務費	配本車運行料等	16,648
						委託料	図書館オンラインシステム機器賃借料等	25,251
						使用料及び賃借料	図書館オンラインシステム機器保守委託等	27,496
						備品購入費	備品購入費	200

	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	27年度	28年度	差額		27年度	28年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費		0	行政収入	地方税		0
	物件費		0		国庫支出金		0
	維持補修費		0		都支出金		0
	扶助費		0		分担金及び負担金		0
	補助費等		0		使用料及び手数料		0
	減価償却費		0		その他		0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		0
	賞与・退職給与引当金繰入額		0		行政収支差額(a)-(b)=(c)		0
	その他行政費用		0		金融収支差額(d)		0
	行政費用合計(b)		0		通常収支差額(c)+(d)=(e)		0
特別費用(g)		0	特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	当期収支差額(e)+(h)		0		
備考							

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	区民1人当たりの蔵書冊数(点)			4.01	4.22	4.80	(全館)蔵書点数÷住基人口
	区民1人当たり個人総貸出点数(点)			8.25	9.0	10.0	(全館)貸出点数÷住基人口
	おはなし会年間参加者数(人)				1,600	1,900	

問題点・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化するニーズを的確に把握し、充実した図書館サービスを提供する必要がある。</li> <li>・サービスの向上に当たっては、行政コストとのバランスを考慮する必要がある。</li> <li>・中央館と地域館との役割分担を行う。</li> <li>・職員の能力を向上させるため、館外視察や企画運営力向上のための研修に派遣する。</li> <li>・図書館におけるボランティア活動の充実を図る。</li> </ul>
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区) 中央図書館については全区が設置し、子ども読書推進計画の策定、図書館オンラインシステムが導入されている。

問題点・課題の改善策		
平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
	中央図書館閉館のため、新たな資料の購入と、既存図書館からの移管を行い、中央図書館機能を南千住図書館から移行した。	特色のある区立図書館となるよう、中央館と地域館との役割分担を整理する。
	新たな図書館コレクションとして「現代俳句協会」と協定を結び、更に国外の俳句資料を収集し、提供する準備を整えた。	国内外の俳句資料を継続して収集し、保有する資料を活用した講座等についても開催する。
		絵本コーナーの魅力向上のため、フロア装飾等を行うとともに、絵本に関する講座の開催について検討し、実施する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
推進	推進	「読書のまち あらかわ」を実現するため、図書館サービスについて周知し、活用してもらう必要がある。

議(要)質(問)状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度 2月会議 読み聞かせの推進とボランティアについて</li> <li>・平成27年度 9月会議 運営方針等について</li> <li>・平成27年度 11月会議 図書館機能の準備について</li> </ul>
-----------	--

# 事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード	05-04-05	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	吉村昭記念文学館推進事業運営費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	担当者名	田邊	課長名	須田
						内線	2256
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-06-01	吉村昭記念文学館運営費					
事務事業の種類	新規事業（29年度 28年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	18年度	根拠	荒川区立ゆいの森あらかわ条例		
終期設定	有	無	年度	法令等			
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり				
目的	郷土を代表する作家・吉村昭氏及び吉村氏に関連のある作家に関する資料の収集、研究等を行うとともに、同氏の作品等を基盤とした幅広い文化活動を展開することにより、区民の心を育み、区の文化振興に寄与する。						
対象者等	区民等						
内容	吉村昭氏に関する資料の収集、整理、保管及びその研究 企画展示の計画、展示物の製作などの展示活動 講演会や吉村氏・津村氏とゆかりのある地との連携等を通じた、吉村昭氏と同氏の作品の普及啓発 文学館が地域文化の醸成に貢献できるよう友の会の運営 ○ホームページ等での広報 常設展示室：200㎡（ゆいの森あらかわ2階・3階の一部、復元書斎を含む） 入館料：無料						
経過	平成4年5月 吉村昭氏区民栄誉賞受賞 区役所1階で作品展開催 日暮里図書館吉村昭コーナー設置 平成16年4月 区内の各図書館に吉村昭著作コーナーを設置 平成18年7月31日 吉村昭氏逝去 11月 文学館のあり方に関する懇談会設置（～19年3月） 平成19年1月 講演会 6月 文学館基本構想委員会設置（～20年3月）7月 講演会、企画展 平成20年7月（仮称）吉村昭記念文学館推進委員会設置 7月 追悼イベント 10月 企画展、講演会 平成21年～26年度 企画展、講演会を年各1回実施 平成24年～26年度 展示基本設計、実施設計 平成27年3月 吉村昭記念文学館友の会設立、吉村昭記念文学館展示等検討委員会設置 6月 展示製作業務委託契約締結 平成29年3月26日 吉村昭記念文学館開館						
必要性	吉村昭氏の業績を後世に伝えとともに、吉村作品を通してさらに広範な文学の世界に触れる機会を広く区民に向けて提供することで、区における文化の醸成や区のPRにも寄与することから、必要性は非常に高い。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 文学館の運営に当たっては、学芸員の資格等を有する専門の非常勤職員を採用して実施するとともに、専門家の御意見も伺いながら進める。展示製作業務、デジタル写真撮影業務等を委託						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額								24,963
決算額（29年度は見込み）								24,963
実績の推移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	記念事業の参加者人数（人）	87	85	78	160	217	900	1200
	文学館友の会会員数（人）				200	350	735	450

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
						需用費	消耗品費、印刷製本費	10,454
						委託料	企画展時製作委託等	6,298
						使用料及び賃借料	著作権使用料等	4,250
						役務費	資料等運搬費、筆耕翻訳料等	2,797
						報償費	講演会講師謝礼等	597
						備品購入費	自筆原稿等購入費	519
						費用金補助及び交付金	研修受講料	48

	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	27年度	28年度	差額		27年度	28年度	差額
行政コスト計算書	行政費用			行政収入			
	給与関係費		0	地方税		0	
	物件費		0	国庫支出金		0	
	維持補修費		0	都支出金		0	
	扶助費		0	分担金及び負担金		0	
	補助費等		0	使用料及び手数料		0	
	減価償却費		0	その他		0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	行政収入合計(a)		0	
	賞与・退職給与引当金繰入額		0	行政収支差額(a)-(b)=(c)		0	
	その他行政費用		0	金融収支差額(d)		0	
行政費用合計(b)		0	通常収支差額(c)+(d)=(e)		0		
特別費用(g)		0	特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	当期収支差額(e)+(h)		0		
備考							

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	記念事業の参加人数(人)	160	217	900	1200	1200	イベントや講演会等の参加者人数
	文学館友の会会員数(人)	200	350	735	450	500	吉村昭氏の功績や作品を広く周知するための指標

問題点・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画展の開催や刊行物の作成、友の会の拡大などにより、文学館及び吉村文学を区内外へ広く周知する必要 がある。</li> <li>吉村氏や津村氏とゆかりのある全国各地との連携等の充実を図る。</li> </ul>
他区の実況	(実施 8 区 未実施 14 区 不明 0 区) 文学館設置区 新宿区、文京区、台東区、大田区、世田谷区、渋谷区、杉並区、江東区

問題点・課題の改善策		
平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
文学館の開館に向けて、友の会の組織運営の拡充やカリグラフィの製作等に取り組むことで、更なる認知度の向上を目指す。	開館イベントを開催し、その内容を友の会会報へ掲載し好評を得た。絶版となった「東京の下町」を販売できるよう準備した。	企画展やイベント等の開催では、マスメディアに協力を仰ぎ、広報を行う。ゆかりのある全国の地との連携により館を周知する。
		友の会の申込方法を検証し、入会や更新の際の負担軽減を図り、会員数の増加を目指す。
展示内容を確定し、展示物等の製作を遅滞なく進めるとともに、文学館の経常的な事業内容を具体化する。	企画展案をもとに展示内容に関する資料調査・研究を進め、展示物及び関連する刊行物の作成を遅滞なく進める。	

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	広く区内外に、作家吉村昭氏とその作品の紹介を継続して行い、文学館の運営による文化の醸成を図る。開館一年目であることから、企画展等によって館を周知するほか、友の会会員を新たに募集し、館の運営を軌道にのせる。

議(要質)問(旨)状	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年 一定 吉村昭氏の記念文学館又は図書館併設の記念文庫の設置について</li> <li>平成18年 三定 記念館の設置要望について</li> <li>平成23年 四定 文学館開館に向けた事前周知について</li> <li>平成26年度 予特 友の会の設立について</li> <li>平成27年度 予特 文学館の開館後のイベントについて</li> </ul>
------------	---

# 事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	事務事業コード	05-04-06	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	複合施設開設準備費・吉村昭記念文学館運営費【決算報告】	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	担当者名	榊	課長名	内線
							2256
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（29年度）	01-01-01	複合施設建設費					
	01-01-02	複合施設課異説準備費					
事務事業の種類	新規事業（29年度 28年度）	建設事業	それ以外の継続事業				
開始年度	昭和 平成	18年度	根拠	（仮称）荒川二丁目複合施設基本計画、荒川区立ゆいの森あらかわ条例			
終期設定	有 無	28年度	法令等				
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり				
目的	以下の三つの機能を融合させた複合施設「ゆいの森あらかわ」を、荒川二丁目に整備する。 ・大規模な蔵書をもとに、区民の課題解決等と全ての世代の読書活動を支援する図書館機能 ・荒川区出身の作家吉村昭氏に関する資料の収集・研究・保管を行い、氏の業績を記念する文学館機能 ・子どもに豊かな遊びや幅広い体験・交流の場を提供する子ども施設機能						
対象者等	区民等						
内容	施設全体 ・施設の建設工事、周辺整備との連携 ・三つの機能を融合させ、これまでの各機能の枠を越えた事業を施設全体として運営する仕組づくり ・「ゆいの森あらかわ」開館に向けた機運の醸成 図書館機能 ・大規模図書館にふさわしい資料の選定及び調達 ・効率的かつ効果的な蔵書管理方式の導入とサービス向上に向けた検討 文学館機能 ・吉村昭氏に関する資料の収集及び研究 ・展示計画の策定 子ども施設 ・遊具や体験教材の調達						
経過	平成21年10月 複合用地取得（経理課において取得） 11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置 平成23年7月 （仮称）荒川二丁目複合施設基本計画策定 平成24年3月 荒川地区都市再生整備計画策定 10月 （仮称）荒川二丁目複合施設基本設計及び展示基本設計完了 平成26年3月 （仮称）荒川二丁目複合施設実施設計完了 10月 複合施設の建設工事着工 平成27年2月 施設の愛称名を「ゆいの森あらかわ」に決定、プロポーザルにより加i運営事業者を決定 8月 図書館機能開設準備業務委託契約締結 平成28年1月 ロゴマークの決定 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定 平成29年1月 竣工、3月26日 開館						
必要性	「ゆいの森あらかわ」の整備により、世代や地域、目的が違う人々が集い、交流と経験の共有を通して、知の集積や発信、新たな知的文化活動の誘発や企画が生まれ、荒川地区はもとより、区内全体の知とコミュニティの醸成を図る。						
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 施設運営等の検討に当たっては、非常勤職員を採用して実施するとともに、専門家や関係団体、区民等から幅広く御意見を伺いながら進める。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
予算額	100,349	226,947	321,106	2,506,894	827,606	4,396,800		
決算額（29年度は見込み）	24,284	223,203	179,656	2,410,597	667,226	4,138,676		
実績の推移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	関連事業の参加人数（人）				160	518	900	

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
工事請負費	建築工事費	581,300	工事請負費	建設工事費	3,352,045	報酬		138,998
委託料	図書館機能開設準備委託等	75,850	委託料	開設準備業務委託費	531,693	共済費		20,985
報酬	非常勤職員報酬	3,589	備品購入費	初度調弁等	132,870	旅費		480
備品購入費	職員用什器等	3,212	需用費	初度調弁等	59,172	委託料		33
需用費	消耗品費、印刷製本費	1,784	報酬等	非常勤職員手当等	33,146			
役務費	通信運搬料等	523	役務費	搬出入監理図書等運搬業務	23,186			
共済費	社会保険料（非常勤）	437	その他	使用料・賃料・報償費等	6,564			

	勘定科目			勘定科目	勘定科目			
	27年度	28年度	差額		27年度	28年度	差額	
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費		117,146	行政収入	地方税		0
		物件費		450,381		国庫支出金		2,123
		維持補修費		330		都支出金		1,050
		扶助費		0		分担金及び負担金		0
		補助費等		1,824		使用料及び手数料		161
		減価償却費		16		その他		5,960
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		9,294
		賞与・退職給与引当金繰入額		8,426		行政収支差額(a)-(b)=(c)		808,223
		その他行政費用		239,394		金融収支差額(d)		12,245
		行政費用合計(b)		817,517		通常収支差額(c)+(d)=(e)		820,468
特別費用(g)		4,643	特別収入(f)		72			
特別収支差額(f)-(g)=(h)		4,571	当期収支差額(e)+(h)		825,039			
備考								

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
標	関連事業の参加人数(人)	160	518				「ゆいの森あらかわ」の開館に向けた周知イベントの参加者数
	整備の進捗率(%)	7	28				

問題点・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ゆいの森あらかわ」の認知度の向上</li> <li>「ゆいの森あらかわ」のサービスを担う人材の育成とボランティアの導入</li> <li>平成29年3月の開館に向け、他部署・他機関との調整を行いながらのスケジュール管理</li> <li>開館後の本施設の活用方法や事業計画の具体化</li> </ul>
他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区) 図書館、文学館、子ども施設の三つの機能が融合した施設は他区にはなし。

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
	施設の閉館に向けて、図書資料の調達を含めた初度調弁等の作業を遅滞なく行う。	平成29年3月の開館に向けて、より効果的かつ効率的な運営体制の構築や初度調弁の準備を行った。	
	全庁から施設の活用案を提案してもらい事業計画を具体化するとともに、主に施設で活動いただけるボランティアの育成に取り組む。	理科読ボランティアを募集、育成し、次年度の活動につなげた。	

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
休止・完了	休止・完了	平成29年3月の開館に向けて、より効果的かつ効率的な運営体制の構築や事業計画の策定、初度調弁の準備、機運の醸成を、より具体的な形で進めていく必要がある。なお、平成29年3月開館のため、29年度は事業完了とする。

況議(要質問)状	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年 二定 施設の設置に向けた財政的な負担について</li> <li>平成26年度 2月会議 読み聞かせの推進とボランティアについて</li> <li>平成27年度 9月会議 運営方針等について</li> <li>平成27年度 11月会議 図書館機能の準備について</li> <li>平成28年度 6月会議 区のシンボリック施設としての全庁を挙げた事業展開について</li> </ul>
----------	---